

きぼうのいえ ニューズレター



2023年 秋号

特定非営利活動法人 きぼうのいえ
〒111-0022 東京都台東区清川2丁目29番12号

電話：03-3875-7523 Fax：03-3875-7525
E-Mail：kibounoie777@mbr.nifty.com
ホームページ：http://www.kibounoie.info

季節はめぐり

理事長 下条 裕章

季節の移り変わり、ことに秋から冬に向けての移ろいには、物を思わせる力があるようです。情報の豊かさゆえに、かえって不安やストレスが付きまとい、何かと気忙しい思いをすることが多い現代の社会の中であって、秋の移ろいを心と身体に感じながら心穏やかにそれぞれのいのちにとって大切なことを見つめ、思いを込めてめぐらすことができるようにと願っています。

きぼうのいえの屋上に設けられた礼拝堂・祈りと黙想のスペースに、施設の開設の時に編まれた文書が掲げられています。その一節を書き写します。

「一人ひとりに神から与えられた命がなによりも大切にされることを願って、多くの人々の善意と熱意によってその産声を上げました。そして、真実の和解と平和をとにも願い求めます」、また「これがわたしたちの希望です」と宣べて一つの祈りの言葉、アッシジのフランシスコの平和の祈りが記されています。

「主よ、わたしをあなたの平和の道具としてください

憎しみのあるところに、愛を／ 分裂のあるところに、調和を／ 傷つけあうところに、赦しを／
誤りのあるところに、真実を／ 疑いのあるところに、信頼を／ 絶望のあるところに、希望を／
暗闇に光を、／ そして悲しみのあるところに喜びをもたらすものとしてください。

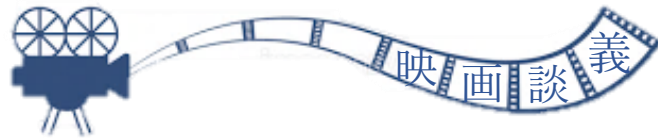
聖なる父よ、／ 慰められるよりは、慰めることを／ 理解されるよりも、理解することを／
愛されるよりも、愛することを求めさせてください。

わたしたちは、与えることによって与えられ、／ 自分自身を忘れることによって本当の自分を見だし、／ 赦すことによって赦され、／ そして死によって、永遠の命に生まれ出る（目覚める）のですから。」

この祈りの心を、わたしたちきぼうのいえは大切に、この世に生まれ進んできました。そしてこれからもその心は、この施設の目に見えない大黒柱、またそれを支える基礎の礎として施設に関わる全ての人のうちに受け継がれてゆくことでしょう。

この施設で長くお働きくださった中川施設長が近く職を離れることとなり、後任のお役をしばらく私がお引き受けすることになります。人との別れにはいつも寂しい思いが募ります。でも、こんな出会いと別れをとおして、きぼうのいえの祈りと心は引き継がれ、拡がり、お一人おひとりの思いが、世界を真実の和解と平和に導くものとなってゆくのだとも思います。この時を、感謝をもっておくり、また喜びをもってこれから歩みの上に幸豊にと祈りたいと思います。





ある日のダベリング

Uさん(80)片岡千恵蔵の作品ですね。

Kさん(77) 永遠の Madonna 吉永さゆり出演作。忘れじの「キューポラのある町」

Aさん(69)入谷名画座での銀幕デビュー(立ち見)。生まれて初めて映画館に入り、
5歳のつづらな瞳で見つめた大きなスクリーンの『海底2万哩』と『モスラ』。

Tさん(60)『ホリディ』『幸せのレシピ』『めぐり逢えたら』ラブ&コメディが大好き♡

Tさん(83)『長崎の鐘』『鐘の鳴る丘』終戦直後に観た映画が特に心に残っている。
(テーマソングを朗々と歌唱し)「あの頃は、大変だったんだよ…。」
と、しばし感慨にふける…。



Iさん(81)『二十四の瞳』『大石先生と12人の生徒の話。内容はあんまり覚えていないけど、
印象深かったんだよな～』

Hさん(78)「俺の人生、映画なんて観ている暇なんかなかったよ。現場から現場への旅鳥。
自分の人生がロードムービーだ。そんでその山場は柏崎の現場かな。」

Aさん(74)『ベン・ハー』『十戒』『小学校の時に住んでいたのが炭鉱の町で、10円で映画が観られた。日本映画にはな
いスケールの大きさにびっくりした。』

Oさん(90)「やはり私らの頃は時代劇です。チャンバラをよく観ました。」

Nさん(76)西部劇ならジョン・ウエイン！黒沢作品なら「椿三十郎」か「七人の侍」！
これ一本なら「大脱走」！

Yさん(76)なんとといっても『ゴジラ』です。伊福部昭のあの、テーマ曲は忘れられない！

Wさん(74)『恐竜100万年』恐竜がしこたま出てくる映画。恐竜は生き物の先輩だよ！

新スタッフからひとこと

岡部美佐子さん

岡部美佐子と申します。

カトリック系看護学校で学んだ35年前の教えをいつか体現したいとずっと思いながら過ごしておりました。そのような中、きぼうのいえの存在を知り、わたしの向かうべきところはここだと強い思いで、こちらの門を叩きました。そして、晴れて、昨年スタッフの一員となることができました。

ここへ来てからというもの、皆さまに教えていただくことばかりですが、きぼうのいえの理念に沿い、少しでもみなさまのお役に立つ事ができたら嬉しいなと思っております。少々慌て者ではございますが、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

癒され、元気を貰っています。感謝です。まだまだ不慣れな事も、頭に「？」が浮かぶ事もありますが、色んな事を学んでいけたらと思います。少しでも利用者さんが、安全・安心・安楽に笑顔で生活が送れるよう、共に歩んで行けたらと思います。また、その人がその人らしく最期の時まで過ごせる様、微力ですが何かお手伝いが出来たら良いなど、日々感じています。これからも宜しくお願いします。

福田貴子さん

初めまして、福田貴子です。

今年の5月からお世話になっております。

「山谷」という地域をある人から聞き、ずっと関心を持っていました。しかし訪れるタイミングがないまま、岐阜へ行くことになってしまいました。今年に入り、千葉へ引っ越したことを機に、ネットで山谷地域を検索したりしていました。何度か見ていたらきぼうのいえを見つけ、元々看取りをもう少し勉強したいと思っていたので、これだ！と思い応募しました。

病院や施設と違い戸惑う事や失敗も多々ありますが、スタッフの皆さんに優しく指導をして頂き、日々業務に励んでいます。また、入居者さんにも初日から、温かく接してもらい有難い事だと思っています。そして入居者さんの明るい性格や笑顔に

遠足に出かけた H さん

「願わくは花の下にて春死なん その如月の望月の頃」

有名な西行法師の詠んだ和歌ですが、その西行法師もうらやむような旅立ちをしたのが H さんでした。

きぼうのいえで入所説明を受けている時にコロナ陽性だと判明し、即、自室隔離。と、トレンディーに登場をされた H さんは、大学で考古学を研究されたという、知的で穏やかな方でありました。

ようやく隔離期間も終わり自室から出られるようになると、国際情勢にも強い関心をお持ちの H さんは、毎朝、きぼうのいえの目の前にある店に新聞を買いに行くのが日課でしたが、その度に迷子になってしまうお茶目な方でもありました。

H さんの望みは、満開になった上野の山の桜を見に行くことだったのですが、ある時、主治医との会話の中で気晴らしの散歩を勧められたらしく、よく晴れた日の午後、昼ご飯を済ませると、職員の誰も気づかないうちにリュックにおやつを詰めて、ふらりと春風に誘われるように遠足に出かけてしまったのです。その後しばらくして H さんが居ないことに気づいた職員は、近隣を探したが見つからず、交番で捜索願も出したところ、夕暮れ時に警察から連絡が入りました。なんと上野の銭湯に入っているときに心肺停止で倒れ、そのまま亡くなったとのことでした…。

きっと H さんは久しぶりの遠足で満開の桜を満喫し、その後、ゆっくりと大好きなお風呂に入りながら

「極楽、極楽」と、目を細めつつ遠くに旅立ったに違いありません。

(スタッフ 渡辺)

能勢麻子さん

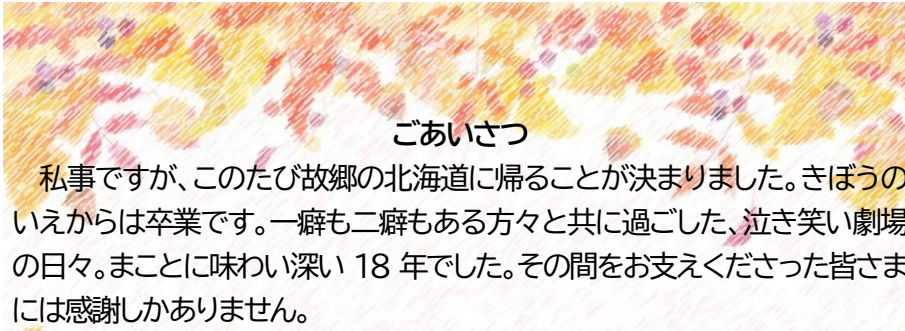
今年4月より、スタッフになりました能勢麻子です。

私は15年前にもこちらで働いていました。家族の転勤で離れましたが、その間もきぼうのいえでの温かい思い出に折にふれ励まされてきました。病の痛みや生きづらさを抱えながらも人を思いやる優しい入居者さん達は、当時とメンバーは変われど、その雰囲気はびっくりするほど変わりません。最近も近所のお使いの道案内についてきて下さる方、おしゃべりにずっけたり思わずふきだしてしまうユーモアたっぷりの方、新入りの私をさりげなくフォローして下さる皆さんに助けられ心がほっこりします。いろいろな出会いの中で、少しでもここにきて良かったと思っていたように力を尽くしたいです。

清水あゆみさん

きぼうのいえを知ってこのニューズレターを手にした皆様、ご支援、ご賛同をくださる皆様、はじめまして。清水あゆみと申します。きぼうのいえで働き始めて、あっという間に一年が経ちました。療養型の病院を含め、色々な施設(多分10カ所以上)で働いてきましたが、私の中ではきぼうのいえが一番です。何が一番かという、①色濃い人生を送られてきたご利用者の、最後の舞台に居合わせることが出来ること。②自分の価値観や考えや一般常識は傍に置いてでも、相手を理解し、寄り添おうとする職員が揃っていること。

私もエールをくださる皆様を含めた「チーム・きぼうのいえ」のメンバーとして、人として、もっともっと成長できるように頑張ります。皆様、ご指導のほどどうぞよろしくお願いいたします。



ごあいさつ

私事ですが、このたび故郷の北海道に帰ることが決まりました。きぼうのいえからは卒業です。一癖も二癖もある方々と共に過ごした、泣き笑い劇場の日々。まことに味わい深い 18 年でした。その間をお支えくださった皆さまには感謝しかありません。

先日、昨年までに旅立った方々の写真を整理する作業が終わり、一冊のアルバムができました。ページをめくると懐かしい顔がズラリと並んでいます。皆さんにどれだけ励まされたことか！おひとりおひとりに、ありがとう、ありがとうと声をかけたところです。

感謝と祈りのうちに。



中川竜



おしらせ

施設長 中川竜 の退任にともない、12 月 1 日より後任として理事長 下条裕章 が施設長を兼任することになります。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



※単位:円

令和 4 年度決算報告書

<収入の部>		<支出の部>	
科目	決算額	科目	決算額
一般寄付金	6,046,067	人件費	30,142,571
教会寄付金	362,901	修繕費	91,960
受取助成金	14,750,427	厨房費	3,776,680
事業収益	31,563,323	水道光熱費	2,554,554
その他収益	596,901	その他諸経費	8,105,399
総計	53,319,619	総計	44,671,164

令和 4 年度の次期繰越正味財産は 165,451,544 円でした。令和 5 年度はパソコン等什器備品の充実を図る所存です。長いこと重責を担っていた中川さんとはお別れです。残るスタッフ全員で、明るくほがらかに邁進してまいります。応援をよろしくお願い致します。

(事務局 藤堂)

きぼうのいえでは、私どもの活動にご賛同頂ける皆様方に、ご支援・ご寄付をお願いしています。

振り込み方法は①郵便振替、②銀行振込み、③インターネット募金の3つがあります。

きぼうのいえの運営へのご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※ご送金にあたってのお願い：ご支援・ご寄付をくださった方々のお名前の公表の可否をお伝えください。

① 郵便振替の場合 郵便振替番号: 00190-6-388670 名義:きぼうのいえ後援会	② 銀行振込の場合(※1) みずほ銀行 三ノ輪支店 普通 口座番号:1284037 名義:特定非営利活動法人きぼうのいえ	③ インターネット募金 ホームページからアクセスして、 カード決済することもできます。 http://www.kibounoie.info/index.html
--	---	--

※1 銀行振込の方で領収書が必要な方はメール等で連絡先をお知らせ下さい。

寄附金受領証明書の発行について

きぼうのいえは認定NPO法人です。認定NPO法人に対するご寄付は、寄附金控除(税額控除)の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄附受領証明書は、ご寄附の都度発行させて頂いております。

寄附受領証明書の再発行はできませんので、ご了承ください。